

# 原型炉課題解決に向けた大学の取組

- ◆ 原型炉に向けた研究開発は文部科学省の原型炉開発総合戦略タスクフォースが2017年に策定した「原型炉開発に向けたアクションプラン」に沿って推進されています。
- ◆ 大学・研究機関等の参画が特に有効な課題については、QST とNIFSが中核機関となり大学等との共同研究を、新しい枠組みとして2019年から実施しています。
- ◆ QST公募分とNIFS公募分を合わせると毎年約150名の大学教職員と100名近い学生が参画しており、研究の進展のみならず、原型炉建設を牽引していく人材の育成に繋がることが期待されます。原型炉課題解決に向けて皆様の積極的な参加をよろしくお願いいたします。

アクションプラン項目	2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	QST公募	NIFS公募	QST	NIFS	QST	NIFS	QST	NIFS
0. 炉設計			1		1		1	
1. 超伝導コイル	1		1		2		3	
2. ブランケット	1	2	2	2	1	1	1	
3. ダイバータ	2	2	2	3	3	3	3	5
4. 加熱・電流駆動システム	1		1		2		2	
5. 理論・シミュレーション	6		7		7	1	9	
6. 炉心プラズマ			1		1		1	
7. 燃料システム	3	1	4	2	5	2	5	1
8. 核融合材料と規格・基準	24		14		21		23	
9. 安全性	2							1
10. 稼働率と保守			1		1		1	
11. 計測・制御			2		2		2	
合計	40	5	36	7	46	7	51	7